

【I】学習拠点としての公民館（大項目）

1. 公民館事業の充実（中項目）

国分寺公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 家庭教育、青少年教育、成人教育、高齢者教育など、各年代のライフスタイルに沿った講座を実施します。	家庭教育の向上に資する講座等を実施しているか。	各講座とも募集人数を満たさなかった。しかし、平成30年度から各コマへの受講可能したことにより、令和元年度も全3講座とも開催できた。ただし、受講者が少なく、1コマは中止となった。 受講者数 延 129人	平成29年度、2講座が募集定員を満たさなかったため、開催できなかった。受講方法の変更により、平成30年度、令和元年度、2か年ではあるが、開催できたことは一定の成果を上げている。今後もいろいろな方向性を見出しながら、継続していきたい。	
	青少年教育に関する講座等を実施しているか。	1講座はボランティア主催、1講座は公民館主催事業として実施した。 受講者数 延 36人(公民館主催講座)	公民館主催の青少年教育も家庭教育と同様である。	
	成人教育に関する講座等を実施しているか。	セカンドステージ支援講座3、まちづくり入門講座2、成人講座6、計11講座で実施した。 成人講座5講座は定員を超えていたが、その他は満たさなかった。特にセカンドステージ支援講座とまちづくり入門講座の座学講座は受講者数が少ない。 受講者数 延 853人 内訳 セカンドステージ支援 延 157人 まちづくり入門 延 19人 成人 延 677人	受講者の方々は、講座後に講師と談話されるほうが多くみられた。 この状況から講座として、成果は出たと考えられる。 今後は、公民館にいろいろな方に受講(来館)される企画を立案していきたい。	
	高齢者教育に関する講座を実施しているか。	多岐にわたる内容で、知識向上と仲間づくりができた。 新たな受講者が少なく、新たな方の受講増を図るため、受講者に対し、呼びかけをしてもらう取り組みを実施した。 受講者数 延 377人	多くの方が毎年の受講者であり、受講者間の仲間意識は強い。受講者は高齢者であるため、受講されないときは、公民館として体調の変化が気になる。このときは、公民館が地域に身近な存在であることが感じられる。	
	趣味・教養に関する講座等を実施しているか。	1講座すべて、もしくは講座1コマが対象であった。歴史、趣味等の講座は受講者が多く、教養のみの講座は比較的少ない。	受講者の方々は、講座後に講師と談話される方が多くみられた。 この状況から講座として、成果は出たと考えられる。 今後は、公民館にいろいろな方が受講(来館)される企画を立案していきたい。	

イ 地域の活性化を図り地域の輪を広げるため、まちづくりの担い手や様々なボランティアの養成を目的とした講座を実施します。	地域づくりのための課題を把握し、講座等に活かしているか。	市民の方々から情報を得るため、来館者(受講生含む)を中心に、会話をしながら、把握に努めた。特に家庭教育講座は自主サークルの方(子育て世代)の意見を聴取して企画した。 受講者は少なかったが、受講者の多くは、関心を持ち、有意義なものとなった。	今後はもっと来館者以外の方の興味の把握に努め、企画を立案していきたい。 また、受講者の方が地域に関心を深め、多くの方々と活動していく体制づくりに努めたい。
	ボランティア養成に関する講座等の実施。また、ボランティア活動の場として提供しているか。	体験型の1講座を実施した。(託児ボランティア体験) ただし、受講者はなかった。 また、地域のボランティア団体に勉強会や総会として会議室を、打合せにロビーを提供した。 また、まちづくり入門講座は自体、ボランティア養成に近い内容となっている。	体験型講座には受講者はなかったが、1名の方から、11月末に問い合わせがあった。日程の都合で参加できなかったが、今後もボランティア団体と協働しあい、体制づくりを推進していきたい。 活動の場としては、より多くの団体が気軽に使用できる体制づくりを推進していきたい。
ウ 市民の学習ニーズの把握に努め、魅力的で参加しやすい講座を実施します。	市民の学習ニーズを把握するため、意見箱(窓口対応を含む)等を設置し、講座の企画に生かしているか。	4月に意見箱を設置した。それだけでなく、市民の方々から情報を得るため、来館者(受講生含む)を中心に、会話をしながら、把握に努めた。	より多くの方(来館者以外含む)の意見の把握方法を検討していきたい。
	一時保育を行っている講座を実施しているか。	家庭教育1、成人講座2、計3講座(計17コマ、各コマ託児対象者平均3名対象)で実施した。(ボランティア数、延49名) 託児ボランティア団体の会員数により、人数の制限を設けた。(1コマ4名まで)	託児ボランティア団体との調整が難しく、団体の活動の幅が広がるよう協力していきたい。今後は制限を増やせる体制づくりをしていきたい。
エ 世代間交流を促進する講座の開催など、地域コミュニティの醸成を図るための取り組みを行います。	幅広い年齢層が交流できるような講座等を実施しているか。	家庭教育、高齢者教育は年齢制限を設けているが、その他は募集年齢制限を設けていない。	講座の開催時間等から多くの講座は高齢者が中心である。ただし、講座によって30、40代の受講者もあり、今後は世代間を超えた幅の広い講座も推進していきたい。
	地域コミュニティの活性化につながるような事業を実施しているか。	地域コミュニティが年1回、おまつりを実施した。 また、総会等の会議、その他事業で使用した。	公民館は、より使用しやすい施設となるための改善していきたい。

2. 生涯学習活動の場の提供 (中項目)

国分寺公民館

評価項目 (小項目)	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果 (目標)	
ア 生涯学習に関する活動の中心の場とします。	地域住民に、公民館の目的を周知しているか。	公民館振興計画、公民館運営審議会議事録 また、公民館だよりを市ホームページに公開した。	今後も多くの機関への配布等、多くの市民等に周知していきたい。	
	住民の身近な学習・交流の場としての提供や学習相談などを実施しているか。	ロビーにテーブル、いすを配置し、今まで講座、サークル活動終了時に退館していた方が、談話をされることが多くなった。また、サークル活動以外でも使用された。 新規利用者は公民館の利用方法の相談がある。	より気軽に使用できる施設としての周知していきたい。 まだ多くの方が公民館を利用されていない状況であり、今後は身近な施設として周知していきたい。	
イ 全ての人に開かれた学習機会・場を提供します。	子どもから高齢者までが参加できる学習の機会、場を提供しているか。	ボランティア講座(ゴーゴー学び塾)が子供(児童)を対象とした講座である。その他は、成人以上の講座となっている。現在、公民館主催講座では全世代を対象とした講座はない。	ボランティア講座では講師が高齢者、受講者は小学生であるが、全世代が受講できる講座開催の検討していきたい。	
	講座等の募集は、広く市民に周知しているか。	年1回、3月中旬に「生涯学習情報誌メール」発行、また、市ホームページに掲載している。	各戸に配布されているが、自治会加入者のみである。未加入者へも周知していきたい。(市ホームページ掲載等)	
ウ 活動に必要な備品の整備に努めます。	利用者の活動ニーズに即した備品を整備し、台帳を作成しているか。	現状は台帳にある備品を貸出している。 (基本、館内の使用のみ)	今後は、社会環境の変化により、予算等を加味して検討していきたい。	
エ いつでも気軽に活動でき、人が集まる公民館をめざします。	利用促進のため、講座内容の検討やロビー等の活用を努めているか。	講座内容は前年度の実績及び当該年度の応募状況を踏まえ、次年度の企画時点で、検討をしている。 また、ロビーにテーブル、いすを配置し、今まで講座、サークル活動終了時に退館していた方が、談話をされることが多くなった。また、サークル活動以外(ボランティア団体)でも使用されている。	今後はもっと来館者以外の方の興味の把握に努め、企画を立案していきたい。 また、気軽に使用できる施設としての周知していきたい。	

3. 学習情報の提供と学習相談体制の充実 (中項目)

国分寺公民館

評価項目 (小項目)	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果 (目標)	
ア 地域住民への学習情報提供や学習相談の窓口として対応します。	学習情報は「広報しもつけ」や市ホームページ等に掲載し、提供しているか。	市ホームページに「生涯学習情報誌エール」に掲載した。また、臨時に「広報しもつけ」を使用するが、実績はない。	自治会未加入者並びにパソコンのない方々への広報活動を推進していきたい。	
	自主グループやサークルの紹介や活動報告を提供しているか。	自主サークル一覧として「生涯学習情報誌エール」に掲載している。なお、年間10件ほどの問合せがあり、そのたび、連絡先等サークル活動を紹介している。また、1件の自主サークルの紹介、発表会等を「広報しもつけ」の生涯学習だよりに掲載した。	エールによる周知は実績を上げている。なお、今後は公民館だより掲載をサークルに呼びかけていきたい。また、自治会未加入者の広報活動を推進していきたい。	
	資格取得に関することや入学案内情報など、住民にとって有益な民間情報を提供しているか。	陳列棚にて提供している。	チラシ等が減っているものもあり、成果は出ている。	
	学習情報提供や学習相談に対応し、またそれに関する課題を把握し、相談内容を記録しているか。	小学生が下野市の勉強(学校課題)のため、来館し、資料(文化財等のチラシ)の提供をした。各館共通理解が必要な特別な相談なく、記録はしていない。	小学生が来館したことは、地域住民への窓口としての機能を果たしていると考え。	
イ 学習情報の掲示や資料提供に努めます。	利用者に学習情報やチラシ・ポスター等の資料の提供に努め、見やすく掲示され、整理整頓されているか。	内容を区分けしたことで見やすくなった。	改修工事完了時に現状以上に見やすい方法を検討していきたい。	
	期間の過ぎた学習情報は撤去し、常に最新の情報を掲示しているか。	週の初めに確認している。	今後も継続していきたい。	
ウ 情報の収集、提供機能の充実を図ります。	学習に関する地域の情報発信拠点として、市内外の学習情報等を収集し、提供しているか。	市内は各課等から提供されており、県市外は県、他市との会議、研修会において収集、提供に努めた。	それ以外の情報はインターネットを活用しているが、不明な点も多く、直接、電話等にて対応している。今後も継続していきたい。	
	情報の収集と提供機能を強化するため、近隣市町や関係団体と連携・協力体制を図っているか。	他市町の情報誌等を活用し、問い合わせ等を実施した。	明確な連携・協力体制ではないが、県公連や指導員同士のつながりにより、対応している。	

【Ⅱ】活動拠点としての公民館（大項目）

1. 利用団体の育成・活動支援（中項目）

国分寺公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 公民館講座などの受講生の自主グループ化を支援します。	受講生の自主グループ化のために、助言や指導などを実施しているか。	平成 29 年度の 1 講座（脳トレ！健康マージャン）から平成 30 年度にサークルとなった。また、平成 30 年度、令和元年度同じ講座を実施した結果、受講者が同サークルに加わり、会員が増えた。 新たなサークルはできなかった。	講座の内容により、サークル化が難しく、今後はサークル活動ができそうな講座には、積極的に支援していきたい。	
イ 各公民館の自主サークルが交流できる場を提供します。	各公民館の自主サークル相互の交流が図れるように、公民館がコーディネーターとしての役割を果たしているか。	公民館まつりのオープニングステージで南河内公民館自主サークル「安来節どじょう掬い踊り愛好会」に出演いただき、国分寺公民館にはない活動を知っていただいた。また、今後のサークルの交流を促すため、交流会の開催に向けた会議を実施した。	順次、各公民館の自主サークルに出演いただくことを考えているが、現在あるサークルを維持していくことにも努めたい。 また、サークル同士の交流に努めていきたい。	
ウ 自主グループや市民団体の活動を支援します。	自主グループや市民団体の活動に対して、情報や場の提供、学習相談などを実施しているか。	グループ等の活動に、ロビー等の提供や催し物の掲示物を掲示した。 各グループに声かけをし、今、何が必要かを確認した。 また、自主サークルの自主講座の開催、募集等に助言（広報掲載方法等）した。	より気軽に使用できる施設としての周知、偏りのない支援に努めていきたい。	

2. 学習成果の発表の場の提供 (中項目)

国分寺公民館

評価項目 (小項目)	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果 (目標)	
ア 自主グループや公民館利用者等が学習成果の発表の場として、公民館まつりを開催するにあたり、各世代が参加・見学できるプログラムや運営体制づくりを支援します。	公民館まつりにおいて、自主サークルや公民館利用者等が学習成果を発表できる場を提供しているか。	館内すべてをまつりのために提供した。	いつもは広く感じられる館内が当日は狭く感じられるほど多くの方が来館された。今後もこの状況を維持していきたい。	
	公民館まつりの開催にあたり、自主グループや公民館利用者等が運営に参画し、各世代が参加・見学できるプログラムづくりや運営体制づくりの支援をしているか。	参加サークルが公民館まつり実行委員会を組織し、工夫を凝らしながら、開催した。	今後も自主性を損なわないような支援を継続していきたい。	
イ 自主グループや公民館利用者等の学習成果の館内発表の場を常時設置します。また、公民館だけでなく、他施設への展示を支援します。	自主グループや公民館利用者等に、館内の発表・展示スペースを提供しているか。	1サークル(オカリナクラブ・ドルチェ)が視聴覚室で発表会を開催した。また、現在、2サークルが壁面展示している。	今後、他のサークルを含め、発表・展示方法、場所の確保に努めていきたい。	
	自主グループや公民館利用者等に他施設への展示の支援をしているか。	庁舎等他施設における展示の際、備品の貸出、掲示物の掲示をした。	サークル活動の幅が広げられた。なお、今後、庁舎等市施設以外の備品の貸出基準の検討をしていきたい。	

【Ⅲ】協働のまちづくりの拠点としての公民館（大項目）

1. 利用団体の協働のまちづくりへの参画支援（中項目）

国分寺公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 利用者との協働による公民館運営をめざします。	公民館の運営に市民や利用者の意向（意見）を反映させるための仕組みをつくり、反映されているか。	講座受講者及び来館者に対し、意見を聞いて講座内容に生かしている。意見箱を設置している。	来館者の意見を講座そのものまたは1コマに採用したことにより、公民館を身近なものと感じていただいた。今後は来館者以外の方の把握方法を検討していきたい。	
	公民館の主催事業等の企画、運営、実施に公民館利用者（自主サークル、ボランティア団体等）または市民が参画しているか。	講座、まつり等の企画について、公民館利用者に対し、意見を聞き参考にした。	利用者以外の方にも身近に感じられる偏りのない企画の検討に努めたい。	
イ 自主企画講座の開催を支援します。	講座開催に向けた必要な助言・指導を行っているか。	会員募集等の自主講座開催に対し、広報掲載及び施設予約等で助言等を行った。	企画が決まった段階での話であると、広報掲載及び施設使用ができない場合がある。なお、最近では公民館の使用方法が、浸透したことにより、早めの相談されるようになってきた。今後は多くのサークルにも周知していきたい。	
ウ 自発的な学習活動を援助します。	学習意欲のある利用者が個人あるいはグループでも学習できるように学習情報の提供や学習相談などを実施しているか。	施設の使用等をアドバイスした。	何を目的に、何をしたいかをよく把握し、対応することができた。今後も利用者が最大限活動できるよう努めていきたい。	
エ 利用団体同士が交流できるよう支援します。	団体同士をつなげるような役割を果たしているか。	公民館まつりで他館のサークルをオープニングステージに参加していただいた。また、今後、交流会開催に向け、サークルを交え、会議等を実施した。	順次、まつりには各館の自主サークルに出演いただくと考えているが、現在あるサークルを維持していくことにも努めたい。また、令和2年度以降の交流会開催に向け、各サークルの連絡体制ができつつある。なお、今後もサークル同士の交流に努めていきたい。	
オ 気軽に立ち寄り、情報収集・意見交換などができる自由な交流の場を提供します。	ロビー等、自由スペースの利用促進が積極的に図られているか。	ロビーにテーブル、いすを配置し、今まで講座、サークル活動終了時に退館していた方が、談話をされることが多くなった。また、サークル活動以外でも使用された。	今後はもっとサークル以外の一般の方々にも、より気軽に使用できる施設としての周知していきたい。	

2. 学校・家庭・地域の連携支援（中項目）

国分寺公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 市生涯学習情報センターと連携し、市内の小中学校、関係機関、各種地域団体が相互に支援しあう体制を強化充実させます。	学校・家庭・地域の相互の支援体制を強化するため、生涯学習情報センターのボランティアバンクを活用しているか。	目に見えた活動はなかった。 ただし、家庭の支援として講座の託児ボランティアに依頼、実施し、対応した。	どのような方法が支援につながるかを今後、積極的な活用を検討し推進していきたい。	
	学校・家庭・地域が課題や情報等を共有できる体制づくりを行っているか。	国分寺地区の学校、児童館及び地域の情報である各たより等を掲示する場所を設けた。	より、地域の情報の発信の仕方を検討し、周知に努めていきたい。	
	公民館利用者など地域住民に対し、ボランティアとして学校への参加・参画を呼びかける等の助言を行っているか。	自主サークル及び会員に対し、学校等へのボランティア活動の呼びかけをした。 令和元年度は新たな照会はなかった。	今後はもっと地域住民がボランティアとして活動できる体制を検討していきたい。 以前、学校へ紹介を行ったサークル等は、次年度以降、学校から直接連絡をとられることがあり、スムーズな運営に繋がっている。	
イ 各種指導者や地域コーディネーターの発掘と養成に努めます。	リーダー、コーディネーター養成事業を実施したり、発掘に努めているか。	まちづくり入門講座は養成を加味し、実施した。また、講師は地域や各団体のリーダーであり、講師となることでコーディネーターとなった。	今後、受講者が地域で活動するときの支援に努めたい。 また、講師にはコーディネーターの要素がない方もおり、コーディネーターとして、対応できるよう養成していくことも必要である。	
	リーダー、コーディネーターの養成研修や講座の修了者を指導者・助言者として活用しているか。	まちづくり入門講座、成人講座の受講生にはリーダーやコーディネーターとなりうる方もいた。	講座等事業に対し、積極的に意見をいただいた。今後はその方々を公民館並びに地域への活動に参加されるよう積極的に支援していきたい。	
ウ 各種事業・イベントを通して、地域の連帯感を育む活動を支援します。	自治会・コミュニティ・ボランティア団体等に対して、活動相談・場の提供を行っているか。	地域コミュニティが年1回(令和2年3月1日(日)、おまつりを実施。開催にあたり、活動相談。また、その他の団体も含め、総会等の会議、その他事業で使用している。 ボランティア団体(ハートベリー・ランドセル海外配布)も年1回(3月末ごろ)ロビーを使用していたが、今年度はコミュニティ施設(友愛館)を使用した。	今後はもっと現使用団体以外の多くの方々にも、より気軽に使用できる施設としての周知に努めたい。	

【IV】地域文化創生拠点としての公民館（大項目）

1. 公民館・生涯学習情報の発信（中項目）

国分寺公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 学習情報を周知するため、公民館だよりを発行します。	公民館だよりを定期的に発行しているか。 （4回／年）	公民館だより 4号(4月)・5号(9月)・6号(1月)・7号(3月)を発行した。	今後も多くの機関への配布等、多くの市民等に周知していきたい。	
イ 公民館事業の紹介や活動団体のPR等をするため、市ホームページを充実します。	事業の参加申し込み、活動団体のPR等をインターネットで紹介しているか。	講座、予約まで新規利用者はもとより現在の利用者にも対応時に実施している。	パソコンの普及が多くなってきたことから、多くの方の利用が増えた。	
	ホームページを定期的に更新し、種々の情報提供を実施しているか。	ホームページに公民館だより、イベントカレンダーに公民館まつり掲載した。	今後はもっといろいろな事業を掲載していきたい。	
ウ 学習情報等の市民への周知徹底に努め、積極的な参加促進を図ります。	学習情報等は「エール」へ網羅しているか。	公民館としては対応できている。	各戸に配布されていることが浸透してきている。しかしながら、自治会外の方への対応にはネット等を推進していきたい。	
	参加者の少ない講座等に、追加募集などの必要な措置を講じているか。	家庭教育、青少年教育は地区の小学校を通じて児童にチラシの配布をした。	配布により、受講者は増加した。今後は「エール」の周知に努めたい。	
	関係団体等と連携し、情報提供に努めているか。	チラシ、ポスター等を掲示し、各館、各課等との連携はした。	公民館まつりのチラシ、ポスターの掲示を依頼した。	

2. 施設の適正な維持管理と運営 (中項目)

国分寺公民館

評価項目 (小項目)	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果 (目標)	
ア 快適な学習環境を整備します。	館内のインターネットを使用できる環境を整備しているか。	無料 Wi-Fi の使用ができる環境を整備している。	利用者の中には、サークル活動にも利用されている。	
	館内は、清掃が行き届いているか。	シルバーが週 3 日、業者が年 3 回、清掃業務を実施している。 現在は朝、開館前に玄関前の清掃も実施している。	利用状況により汚れがひどい時もあり、職員が対応している。 また、玄関前の清掃により、落ち葉等が館内に入りづらくなった。	
	利用者に配慮した室内の温度・照度は保たれているか。	ロビーは開館前に天候及び気温を考慮し入れており、館内を快適な状況に保つよう努めている。 公民館まつり等、早朝からの調理室使用においては当日の使用時の対応では室内が暖まらない。そのため、前日から対応した。	冬季は館が冷え切ってしまうため、北側の部屋が温まりにくいのが、館内に入った際には利用者が気を落ち着ける体制づくりに努めた。今後も継続していきたい。	
イ 利用者の安全性・快適性に配慮した維持管理を行います。 また、長期的には公民館に求められる施設サービスに応じた規模・機能を踏まえ、他の公共施設との調整を図り、計画的な対策を実施していきます。	維持管理マニュアルを作成し、施設・設備の点検、整備を実施しているか。また、必要な各種修繕工事は実施されているか。	作成し、日常、施設の確認をしている。 老朽化による修繕を実施した。	突発的に修繕があり、利用者の不便にならないよう努めた。 今後も突発的な修繕の対応に遅れないよう対応していきたい。	
	公民館改修計画は策定されているか。	策定している。	改修計画に基づき、令和 2 年度に改修工事(2 期工事)を実施する。	
	受動喫煙対策はなされているか。	館外の指定場所のみの喫煙としている。	旧庁舎解体後、公民館のみの敷地となるため、全敷地禁煙となる。	
	高齢者や障がい者への配慮がなされているか。	ホール玄関前にスロープの設置している。 また、新たに東側に駐車場整備によるスロープが設置された。 館内には障がい者用のトイレが設置されている。	新たなスロープが設置されたことによって利用者の利便性が確保された。 ただし、築 39 年を経過しているため、エレベーターがなく、2 階への導線は確保できていない。	
ウ 市民が利用しやすいシステムづくりに努めます	施設の利用方法に利用者は満足しているか。	高齢者は 2 階への導線(エレベーター等)がなく、利用しづらいとの意見がある。	本予約の夜間業務の検討をしていきたい。	
	施設予約マニュアルを作成しているか。また、必要に応じて随時見直し等を行っているか。	施設予約システムの利用の手引きに操作ガイドを整備した。	それを確認することで誰もが対応できる体制ができた。	
	インターネットからの施設予約促進を図っているか。	新規のみならず、現利用者に対し、使用方法を説明している。 新規利用者が公民館使用方法についての問い合わせがある。	パソコンの普及が多くなってきたことから、多くの方の利用が増えた。 使用制限があるため、使用方法を説明し、使用していただいている。	

3. 地域の特色を活かした活動の充実 (中項目)

国分寺公民館

評価項目 (小項目)	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果 (目標)	
ア 小学校・中学校と連携し、児童・生徒が交流できるよう支援します。	小中学校と連携・協力した事業を実施しているか。	直接の事業ではないが、各学校の学校だよりの掲示場所を設け、掲示している。	多くの利用者が掲示板を見ており、地域の小中学校の発信ができています。今後は学校の独自性を損なわず、公民館としてどのような連携事業が実施できるか検討していきたい。	
イ 地域資源を活かし、故郷に愛着をもてる事業を展開します。	地域資源 (文化財や伝統文化等、人材も含む) の把握に努め、地域資源に触れることのできる事業を実施しているか。	講座の講師の発掘、文化財の把握に努めた。1 講座もしくは講座中数コマを事業として、開催した。	人材の発掘は多くの方とのコミュニケーションによるところが大きく、職員の資質向上が求められる。地域資源の切り口 (伝え方) より、受講者の感じ方が変わる。いかに魅力的に発信できるかを検討していきたい。	
	地域の団体や企業、NPO等、地域の人たちが参画できるような事業を実施しているか。	企業はないが、地域の方々は公民館まつりに参加した。	今後、誰でもが利用しやすい施設となり、他事業の企画、検討していきたい。	
ウ 各館の地域性を活かした特色ある事業を実施していきます。	地域が持っている、良い地域性や特色が事業に反映されているか。	文化財を題材にした講座や地域のおまつり、催し物の主催者等を講師とした講座を開催した。	受講生は知らなかった地域の催し物を知ることができた。	

4. 職員の資質向上 (中項目)

国分寺公民館

評価項目 (小項目)	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果 (目標)	
ア 職員の資質を高めるため、職員研修を計画的に行います。	国、県、協議会等が主催する、種々の外部研修会に参加し、専門性のある職員としての資質の向上を図っているか。	館長及び社会教育指導員は参加している。 新任の指導員は県主催の社会教育指導員研修に参加している。(令和元年度は南河内東公民館のみ) また、県及び郡の指導員協議会主催の研修にも参加した。 特に、令和元年度は栃木県での開催となった公民館研究大会で平成 30 年度実施した「地域元気プログラム」の事例発表者としても参加した。	平成 30 年度参加した「地域元気プログラム」研修を令和元年度は講座に取り入れ、研修の成果が特に現れたものとなった。	
	内部研修等を実施し、職員の資質向上、共通理解は図られているか。	館長は1~2か月に1回、生涯学習文化課と館長会議を、また、全社会教育指導員と年2回(4月、7月)開催し、共通理解を図った。	共通理解のもと、講座等公民館事業のスムーズな運営等に繋がっている。	
イ 公民館利用者が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めます。	利用者が気軽に立ち寄り、交流できるスペースを設置しているか。	101 会議室にあった四角いテーブルをロビーに置いたことにより、気軽に談話できるようになった。	改修工事完了後、再度、配置等を検討し、今後も継続してより一層活用できるようにしたい。	
	地域住民からの問い合わせ(苦情)等について、職員が内容を共有し、迅速かつ適切に対応しているか。	問合せ等があった場合は、すぐに内容の確認をし、共有するよう心掛けた。 また、不明な点は回答せず、問合せ先をお知らせした。 なお、担当者(館長並びに指導員)が不在時、担当している事項の問合せはメモを残し、担当者から連絡するように対応している。	左記の対応により、スムーズな事業(講座、まつり等)、事務処理ができています。	
	公民館の明るい雰囲気づくりに努めているか。	いつも元気に、明るく、応対するよう職員が心掛けた。	来館者の方が明るく笑顔で対応して下さるようになった。	
ウ 公民館の適正な運営及び活性化を図るため職員の確保補充に努めます。	公民館の運営方針を明確にしているか。	平成 30 年 3 月に公民館振興計画を策定し、それに基づき、運営を行っている。	今後は公民館振興計画(公民館の運営方針)をより一層の市民への周知を図っていきたい。	
	評価の結果を市民に対して公表しているか。	令和元年度は初めての試みであったため、試行となり、平成 30 年度評価は公表していない。	初めての評価であったが、委員各位からの評価、意見は、今後の管理・運営に大変参考になるものであった。	
	公民館職員が、公民館の目標を理解し、目標達成のために必要な人員を確保に努めているか。	現在勤務している職員は、公民館振興計画を熟知し、対応している。	館長及び指導員の資質向上及び地域人材の発掘に努めたい。	

国分寺公民館

内部評価	全体評価(大項目の達成度)
実績 ・ 成果 (目標)	<p>【Ⅰ】学習拠点としての公民館 ・おおむね達成できた。</p> <p>・特出すべき点 以前から気軽に立ち寄れる公民館を目指し、職員一同、積極的に来館者にあいさつし、話をするよう努めた。講座は募集方法に工夫(1コマ受講可能)が2年目となり、多く方が受講され、今年度も全3講座開催できた。ただし、1コマのみ、受講者が少なく開催できなかった。さらに、平成30年度同様、家庭教育のみの託児でなく、成人教育(趣味・美容)でも実施した。結果、昨年度と同様、日中(午前・午後)の講座にも託児を有する30代前後の女性の受講があった。 託児ボランティア体験は実現できなかったが、対象講座の終了時点(11月末)に1名の参加問い合わせがあり、今後のボランティア増に向け、希望のある成果となった。次年度以降もボランティア団体と協働して、事業を展開していきたい。 また、小学生が勉強(学習)の一つの拠点として、来館したことは有意義であり、今後も子供問わず多くの方が気軽に立ち寄れる学習拠点としての機能を果たしていきたい。</p>
	<p>【Ⅱ】活動拠点としての公民館 ・おおむね達成できた。</p> <p>・特出すべき点 既存の自主サークルの会員が増えず、高齢化は進み、維持が難しくなっている。(解散・1) また、講座からの自主サークル化は内容、受講者の状況により対応している。1講座がサークルへの立ち上げを模索し、指導員も対応したが、サークルにはならなかった。 公民館まつりは参加サークル33団体が力を合わせて、土日合わせて延べ900人程の入館者があり、盛況に開催できた。オープニングステージは他館自主サークル出演2年目として、南河内公民館自主サークル「安来節どじょう掬い踊り愛好会」に出演いただき、自主サークルの交流のコーディネーターとしての役割ができたと思う。この企画は好評であり、次年度以降も継続していきたい。また、旧庁舎解体に伴い、駐車場整備が実施されていたため、工事監督者との調整を行い、駐車スペースの確保をいただき、来館者への対応に注意を払った。 1サークルは活動拠点として自主発表会を開催した。その活動内容は「広報しもつけ」の生涯学習だよりコーナーに掲載し、啓発を図った。 毎年2月末から3月初め、地域コミュニティがおまつりを開催し、600人近い方々が利用されている。また、ボランティア団体(3月下旬、ランドセル収集場所としてもロビーを利用し、活動しているが、今年度はコミュニティ施設(友愛館)の事業とタイアップして実施した。今後も地域の公民館として多くの団体の活動を支援していきたい。</p>
	<p>【Ⅲ】協働のまちづくりの拠点としての公民館 ・おおむね達成できた。</p> <p>・特出すべき点 サークル会員からの意見聴取により、講座を開催した。今後も利用者の意見を聞き、様々な企画を立案し、まちづくりの拠点としたい。 公民館まつりでは平成30年度、はじめての企画として、オープニングに南河内東公民館自主サークル「下野ハーモニカクラブ「銀河」」に出演いただき、好評であった。令和元年度は、南河内公民館の自主サークル出演の検討し、「安来節どじょう掬い踊り愛好会」に出演いただいた。今後も活動支援とサークル間の交流の場としていきたい。 また、「公民館振興計画」記載されている交流会の開催に向け、始動し始め、令和2年度以降の開催に向け、各サークル間の話し合い(打つ合わせ)が始まった。今後も交流会を推進していき、サークル、館のみならず、地域、市の連携強化及び活性化に結び付けたい。 学校ボランティアの登録者は活動経験(他校を含む)がない方へのお声かけがむずかしい。今後は生涯学習センターとの連携強化を図り、活動内容の把握に努めていきたい。</p>

【IV】地域文化創生拠点としての公民館 ・おおむね達成できた。

・特出すべき点

公民館だよりは計画どおり、4刊(4～7号)の発行ができた。パソコンの普及等に伴い、ネットによる利用者が増加してきた。

築39年の施設であるため、高齢者等への配慮が特に必要となってきた。改修工事に伴い、1階を高齢者が利用しやすい施設としていきたい。

平成30年度の研修(地域元気プログラム)成果を取り入れ、下都賀教育事務所等の協力のもと、各公民館で講座を企画し、実践し、今までにない成果のあった研修となった。また、この本市の取り組みを第41回全国公民館研究集会・第58回関東甲信越静公民館研究大会において、事例発表したことは意義があり、今後の公民館、講座運営にも今以上に地域課題及び社会状況を加味した題材が不可欠なものとなっていくと考える。つまり、1つの柱として運営にあたることを意味するものとなった。

全体として

令和元年度は「公民館振興計画」を2年目であり、講座等公民館主催事業に方針をいかしながら運営を行った。まだまだ不足している状況ではあるが、今後も計画を推進しながら、広く市民に対して、周知に努めていきたい。

また、「公民館振興計画」に掲げている「I学習拠点としての公民館」としての機能が果たせたことは、計画を促進していくことがより一層の充実を図れるものと思われる状況であることは有意義であった。

平成30年度、試行となったが評価をいただいた。評価自体、初めてであり、職員も公民館を客観的に把握する機会ができ、令和2年度の公民館主催事業(講座、まつり等)、運営の改善点も見えたと考える。また、評価意見(総評)は令和元年度の評価マニュアル(シート)にいかすことができた。これにより、令和元年度の公民館事業をより一層、委員の方々にも明確な評価がいただけると考えている。

令和2年度にはこの評価マニュアル(シート)により、令和元年度の評価をいただき、公表となる。

なお、今後も試行錯誤を繰り返しながら、公民館、サークル、地域、市の連携強化及び活性化につなげていきたい。

平成30年度に改修工事(1期工事、主に照明設備)を実施し、ロビー、会議室等が明るくなった。また、令和2年度は改修工事(2期工事)を実施し、大ホール、視聴覚室、調理室、トイレ等を利用しやすい施設とする。

なお、南河内公民館は平成29、30年度に改修工事が実施され、石橋公民館は令和4年度に児童館が入る複合施設として、旧石橋病院跡地に建設される予定である。今後は南河内東公民館の改修計画の見直しを検討することとなる。

令和2年度は第2次「公民館振興計画」策定(令和3年3月策定・5か年計画)を行い、令和3年度以降の公民館運営方針を決定する予定である。